

# レジメ「私たちはキリストの心を持っています」

聖書箇所:コリント人への手紙第一 2章 6-16 節

日時:2025年6月1日 礼拝

## 序論

### パウロの矛盾する発言の謎

- 前回の主張:「すぐれたことばや知恵を用いて神の奥義を宣べ伝えることはしませんでした」(1 節)
- 今回の主張:「しかし私たちは、成熟した人たちの間では知恵を語ります」(6 節)

問題提起:この知恵の違いは何か?どのように得ることができるのか?

## 本論

### 1)パウロたちが語る知恵 —最初から定められていた神の奥義—

聖書箇所:2章 6-9 節

成熟した人たちとは

- 信仰的ベテランではなく、救われた人たち
- 十字架のことばを神の力として受け取れる人たち

神の知恵の特徴(7 節)

1. 奥義として隠されていた神の知恵
2. 世界の始まる前から定められていたもの

神の知恵の正体

- キリスト自身(1:24 参照)
- 義と聖と贖い(1:30 参照)
- つまり「キリストによる救い」

この世の支配者たちの無知(8-9 節)

- 神の知恵を知らなかった → 栄光の主を十字架につけた
- 人の想像を超えた救いの計画だったため

ポイント1:神様の救いは人間が考えられる範囲の外から与えられる

### 2)御霊による知恵の啓示 —神様のことは御霊だけが知っている—

聖書箇所:2章 10-11 節

知恵を知る方法

- 御霊によって啓示される(10 節)
- 御霊はすべてのことを探られる
- 人のことは人の霊が、神のことは神の霊だけが知る(11 節)

ポイント2:神様のことは聖霊によらなければ、知ることができない

実践への適用

- 聖書研究も聖霊の働きなしには限界がある
- 聖書を読む時は聖霊の導きを求める祈りが必要

### 3)神の知恵の語り方 —御霊を受けて御霊のことばを語る—

聖書箇所:2章 12-13 節

恵みとしての理解(12 節)

- ・ この世の霊ではなく神からの霊を受けた
- ・ 神が恵みとして与えてくださったものを知る

#### 語り方の原則(13 節)

- ・ 人間の知恵によって教えられたことばではなく
- ・ 御霊に教えられたことばを用いる
- ・ 御霊のことばによって御霊のことを説明する

#### ポイント3: 証しや聖書を伝える時は、まず聖霊により頼むことが最重要

##### 家庭礼拝への勧め

- ・ 信仰継承・信仰教育のため
- ・ 家族に主の計画を教えるには聖霊の導きが不可欠

#### 4) 生まれながらの人の特徴 ー御霊に属さないし、御霊のことばを理解できないー

##### 聖書箇所: 2 章 14-16 節前半

##### 生まれながらの人の状態(14 節)

- ・ 神の御霊に属することを受け入れない
- ・ 愚かなことと感じ、理解することができない
- ・ 御霊に属することは御霊によって判断するもの

##### 御霊を受けている人の特徴(15 節)

- ・ すべてのことを判断できる
- ・ だれによっても判断されない

##### 実践的理解

- ・ 主のために損をする選択 → 世の人には愚かに見える
- ・ 礼拝・奉仕の価値 → 御霊の導きがないと理解できない
- ・ 世の人に理解されないのは当然

#### ポイント4: 御霊に属することは御霊によって判断される

### 結論: 私たちは、キリストの心(御霊)を持っている(16 節後半)

#### 与えられている特権

1. キリストの心 = 聖霊様 = 神様の知恵
2. 生まれたままの人にはない大きな恵み
3. 三位一体の神様の働きが私たちの中にある

#### 応答への招き

1. この大きな恵みに感謝しよう
2. 聖霊様により頼んで歩む
3. 聖霊様によって主をもっと知り、礼拝し、従う
4. 聖霊様によってキリストの福音と聖書の真理を語り続ける

### 今日の 4 つのポイント

1. 神様の救いは人間が考えられる範囲の外から与えられる
2. 神様のことは聖霊によらなければ、知ることができない
3. 証しや聖書を伝える時は、まず聖霊により頼むことが最重要
4. 御霊に属することは御霊によって判断される